

平成 28 年度 第 1 回霧島市食育推進検討委員会 会議趣旨

開催日時	平成 28 年 8 月 23 日 (火) 14:00~15:35		
開催場所	国分シビックセンター公民館 3 階 中研修室		
出席委員	竹迫委員長、宮川委員、南委員、常澤委員、川野委員、塗園委員、外山委員、徳永委員、今川委員、山田委員、隈元委員		
事務局	林健康増進課長、上小園主査、溝口主査、福本主査 北井上学校給食課長、黒田主幹兼グループ長、湯之上主幹兼所長 川東農政畜産課長補佐兼農政第 1 グループ長、市来主査 東すこやか保健センター副所長、徳重主任技師		
公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	2 人
議事 (1) 霧島市の食育の取り組みについて (2) 霧島市の年度ごとの食育の取り組みについて (3) その他			
協議結果等の概要 委：委員 事：事務局			
(1) 霧島市の食育の取り組みについて ⇒ 事務局が資料に沿って説明。委員からの主な質問は次のとおり。 委： 噛み噛みメニューの時に残食が多いと聞くと、学校歯科健診の時に検食が出来ると具体的な指導・助言になると思うので、学校給食課に企画してほしい。 事： 給食数など関係もあるので、学校側、学校歯科医側と提供出来る時期や方法等連携を密にして取り組んでいきたい。 委： 歯科健診の日は、昼休みに健診をするので、時間のかかるメニューを避けている。6 月 4 日の「歯の愛護デー」に、学校保健会等で、学校歯科医と「噛み噛みメニュー」給食を子ども達と一緒に食べてもらって、お話を聞けるイベントは取り組める。 委： 霧島市食育推進計画の目標値の中で、「朝食をほとんど毎日食べる市民の割合」が年々減っている。30 歳代は、減っていて、20 歳代は増加しているのは、18 歳・19 歳が含まれたからか。 事： 市民意識調査の 20 歳代に 18 歳・19 歳が含まれたのは平成 27 年度からで、調査段階で年齢が区分されていないので、前年度までとは比較しにくい数値になった。今後、経年で見ないと分からないが、18 歳の高校生が含まれたことで増加したのではないかと考えている。 委： この調査結果については霧島市だが、国の調査では高校生の朝食の喫食率は約 90% なので、その人達が入ってきたから平均値が上がっていると思われる。			
(2) 霧島市の年度ごとの食育の取組について 委： 平成 29 年度は、核となる団体に歯科医師会が入っているが、具体的にはどのような支援が必要か。 事： 「共食」、一緒に食べる家庭団欒のところで、美味しく味わう、よく噛んで味わって食べることの普及を、歯科医師の観点から研修会や講演会などで支援してほしい。			

委：今回作成するリーフレットは、「作りました」「配布しました」で終わるのではなく、そのリーフレットを使って、自分で作れる支援をしてほしい。

委：子ども達には栄養教諭が授業で食育を教えているが、朝食の欠食は、親に問題があることが多い。家庭教育学級にも参加してほしい保護者に限って参加がない。

(3) その他
特になし

会議資料	【配布資料】 ○会次第 ○平成 28 年度霧島市食育推進検討委員会委員名簿 ○霧島市健康・生きがいづくり推進における各種委員会の設置に関する要綱 ○平成 27 年度の各課の食育の取組状況及び平成 28 年度の計画 ○霧島市食育推進計画（第 2 次）の目標値と進捗状況 ○霧島市の年度ごとの食育の取組 ○朝食リーフレットについて
------	--